



龍ヶ崎済生会病院 消化器外科

こばやし あきひこ

小林 昭彦

<資格>

日本外科学会 専門医

日本消化器外科学会 専門医

医学博士

<学歴>

1998年 3月 筑波大学医学専門学群 卒業
2008年 7月 筑波大学大学院人間総合科学研究科
先端応用医学専攻 修了

<所属学会>

日本外科学会

日本消化器外科学会

日本肝胆膵外科学会

<職歴>

1998年 5月 筑波大学附属病院 医員 (研修医)
1999年 4月 茨城県厚生連高萩協同病院 外科医員
1999年10月 筑波大学附属病院 医員 (研修医)
2000年 4月 日立製作所多賀総合病院 外科医員
2001年 3月 つくばセントラル病院 外科医員
2001年 6月 国立がんセンター東病院
外科レジデント
2004年 6月 筑波大学附属病院 医員
2005年 4月 財団法人がん研究振興財団
リサーチレジデント
2005年 7月 国立がんセンター研究所
厚生労働技官
2007年 7月 Hospital Beaujon (France)
clinical fellow
2009年 4月ー
2012年 9月 筑波大学人間総合科学研究科 講師
(2012年 1月ー 3月
ベトナムチョーライ病院
肝胆膵外科医員)
2012年10月 龍ヶ崎済生会病院 消化器外科部長

<ご挨拶>

「食」は生命の源であり、生きていく上で欠かせないものであると同時に、楽しみのひとつでもあります。地産地消が取り沙汰される昨今、茨城県は食料自給率の高い県である事はいうまでもありませんが、量だけでなく質もとてもいいものを手軽に手に入れる事ができます。

「住」環境についても茨城県には豊かな自然があり、都心への交通の便もよく、とても過ごしやすい県だと思います。

私たちが担当する「医」もある意味生活には欠かせないものであり、基本的には地場産業であると考えております。自身が病気になった場合もそうですが、家族が病気になり治療が必要になると、身体的にも精神的にもまいってしまふものです。そんな時、近くに頼りになる病院があるのは結構な救いになります。

このような「医食住」の充実した地域造りに貢献できるよう、現在までいろいろな分野をいろいろな場所で研鑽してまいりました。おなかからお尻まで、お困りの事がありましたらご相談ください。